

J A全農杯 全国小学生選抜サッカーIN 関西

- 1 名 称：J A全農杯 全国小学生選抜サッカー IN 関西
- 2 主 催：日刊スポーツ新聞社
- 3 後 援：(公財)日本サッカー協会・(一社)関西サッカー協会
- 4 特別協賛：全国農業協同組合連合会(J A全農)
- 5 協 賛：奈良県農業協同組合・和歌山県農業協同組合連合会
- 6 主 管：(一社)関西サッカー協会第4種委員会
- 7 期日・会場：2019年3月9日(土)～10日(日) 京都府 宝が池公園球技場
- 8 表 彰：優勝・準優勝・3位(2チーム)に表彰状、メダル、副賞を授与
- 9 参加資格
 - (1) 大会実施年度に第4種加盟登録した団体(チーム)であること(準加盟チームを含む)。
 - (2) 前記団体(チーム)に所属する選手で平成20年4月2日以降の出生者であり、(公財)日本サッカー協会発行の登録選手証を有するもの。
 - (3) 本大会の上位2チームについては、2019年5月3日～5日に日産スタジアム(横浜国際総合競技場)で開催される「**J A全農杯 チビリンピック 全国小学生選抜サッカー全国決勝大会**」に、6年生以下の登録選手で参加可能なチーム。
 - (4) **大会参加費 10000円 振り込み**
- 10 参加チーム数：12チーム(関西各府県の代表各2チーム)
- 11 チーム構成
 - (1) チームの編成は、引率指導者2名以上3名、選手16名以上20名以内とする。
 - (2) 関西各府県(予選)大会において、他チームにてエントリーされていた選手を移籍等(関西各府県内外を問わない)での協会追加登録によってエントリー登録はできないものとする。
 - (3) エントリー締切は2月23日(土)とし、これ以降の変更は認めない。
- 12 条 件
 - (1) 引率指導者は、当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また内1名以上が日本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
 - (2) 参加選手は、健康であり且つ保護者の同意を得ていると共に傷害保険に加入していること。
- 13 選手登録：本大会事務局へ登録する。
- 14 組み合わせ：本大会事務局において決定する。
- 15 試合形式
 - (1) 12チームを4グループに分け、3チーム1グループのリーグ戦を行い、上位2チームが決勝トーナメン

トに進出する。

(2) グループ3位チームは、フレンドリーマッチを行う。

(3) リーグ戦の順位決定

① 勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。

② 勝点は、勝ち：3点 引分け：1点 負け：0点とする。

但し、勝点と同じ場合は、得失点差・総得点数・当該チーム間の対戦結果・抽選の順序により順位を決定する。

(4) 上位8チームによる決勝トーナメント戦を行う。但し、3位決定戦は行なわない。

16 競技規則

(公財)日本サッカー協会による「8人制サッカールールと審判法」に則して行うが、関西大会では3ピリオド制を重視し、次の(1)~(7)の規則に従い行う。

(1) プレー時間

① 12分×3ピリオドとする。(第3ピリオドのスタート時は第1ピリオドのエンドと同じで、中間点でエンドを替える)

② ピリオド間のインターバルは、第1ピリオドと第2ピリオドは1分、第2ピリオドと第3ピリオドは5分とする。

(2) 選手の交代

① 第1ピリオド、第2ピリオドは選手を総替えし、第3ピリオドは自由とする。

従って、選手登録人数は16名以上が必要となります。15名以下は、相手チームの不戦勝となりリーグ最下位となる。

② 第2ピリオドに出場できるのは、第1ピリオドに一度も出場しなかった選手。

当日、登録選手に不都合がおき、試合に出場できない場合は、出場資格を有する日本協会登録選手であれば大会の出場を認める。

(3) 同点の場合における試合の勝者を決定する方法

① リーグ戦においては、引き分けとする。

② 決勝トーナメントにおいては、PK方式(3名で行い決しない場合は、4人目からサドンデスにより決定)により勝者を決定する。

③ 決勝のみ6分(前・後半3分ハーフタイムなし)の延長を行い、決しない場合はPK方式(3人ずつ)により勝者を決定する。(Vゴール方式ではない)

ア 延長戦に入る前のインターバル：5分

イ PK方式に入る前のインターバル：1分

(4) 交代

① 交代は、交代ゾーンで行う。

② 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。

③ 交代は、補助審判に承認を得なければならない。

(5) 交代人数：大会登録書に記載されている登録選手内とする。

(6) サイドコーチ・異議

ベンチ入りする監督、コーチ、スタッフ、役員他が審判員の判定や指示に対して異議を唱える行為や選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により、退席処分としそれ以降はベンチからのコーチングは不可とする。

(7) 警告・退場他

通常の競技規則に準ずる。但し、退場処分になった場合は、他の選手を補充し常に8人でプレーできるものとする。

① 本大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。

- ② 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ③ グリーンカードを導入する。
- (8) ベンチ入り人数：大会登録選手と引率指導者2名以上3名までとする。
- (9) 審判員：主審1人制とし、補助審判1名が付く(審判は協会が行う)。
- (10) ロスタイム表示：実施しない。
- (11) 飲水について：飲水タイムは設けないので適宜摂る。
- (12) 負傷した競技者：負傷の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の人数は2名以内とする。
- (13) 試合球：JFA公認4号球(モルテン)を大会運営本部で用意する。
- (14) プレーの開始と再開：キックオフから直接相手のゴールに入った場合、相手にゴールキックが与えられる。
- (15) ユニフォーム
 - ① 試合に際しては、登録している正・副2色のユニフォームを用意すること。
 - ② 審判が両チームのユニフォームの識別が困難と判断した場合は、両チーム・審判・本部にて話合うか、またはトス等にて決定する。
 - ③ アンダーシャツ又はスパッツは、袖または裾の主たる色と同系色あれば着用できる。
 - ④ ユニフォームの広告表示については、(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみ是を認める。しかし、エントリーの際に記載明記し、事前にチェックを受け承認されなければならない。
 - ⑤ フィールドプレーヤー(FP)及びゴールキーパー(GK 2名以上)登録者は登録書に記載したユニフォームを着用のこと。また、FPがGKをする場合、選手固有の背番号のGKシャツ(登録しているシャツ)を着用しなければならない。但し、パンツ・ストッキングはフィールドプレーヤー登録で可とする。また、GK登録者がFPを行う場合はGK登録と同じ番号のFPユニフォームを着用しなければならない。
- (16) ピッチサイズ
 - ① 縦68m 横50mで通常のフィールドの半分のサイズを基本とする。
 - ② ペナルティエリア
ゴールライン上ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールラインに直角12m。
 - ③ ゴールエリア
ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールラインに直角4m。
 - ④ センターサークル：半径7m。
 - ⑤ ペナルティマーク：8m。
 - ⑥ ペナルティアーク：半径7mの半円弧。
 - ⑦ ゴール：ゴールの内径は、縦2.15m、横5mを基準とする。
ピッチサイズ・エリアサイズについては人工芝等、予めペイントしているコートを使用の場合は、基本と大きな差がなければ使用可とする(最終的には大会本部にて使用可否を決定する)。
- (17) スローイン時に相手競技者は、スローインが行われる地点から2m以上ボールから離れる。

17 その他

不測の事態(悪天候や災害等)が起こった場合、大会役員が協議のうえ大会責任者(関西四種委員長)の判断のもとに対応する。

本書に記載の参加資格、チーム構成、条件及び競技規則等に違反した場合、あるいはチームとして違反と認められた場合、当該チーム(選手、指導者含む)、当該試合の処分については本大会役員が協議のうえ大会責任者(関西四種委員長)が決定する(必要に応じてJFAへ報告する)。